

子どもが積極的に思考する社会科学習の在り方 ～資料提示と発問の工夫を通して～

1、設定理由

市原市教育研究会中学校社会科部会では、一昨年度から、授業における「発問」に関する研究を行ってきた。一昨年度は、「子どもの常識が覆される、意外性のある発問」や、「子どもたちの意見が二分するような、意見の対立を促す発問」に関して研究を行った。昨年度は、「多くの子どもが答えられるような発問」、「主題に迫っていくよう主発問」、「主発問に関する補助発問」というように、段階的に発問を工夫して、生徒が積極的に思考する社会科の授業に関する研究を行ってきた。研究の課題として、「生徒が積極的に思考するための発問の条件」の条件を固めていく必要があることが、浮かび上がった。

そこで、社会科で必要不可欠である、さまざまな「資料」の提示と、その資料に関する発問を工夫して行くことで、従来の研究をより深化していきたいと考え、主題を設定した。

2、研究仮説

授業での資料提示や、資料に関する発問を段階的に工夫することで、生徒が積極的に思考活動を行い、「社会的な見方や考え方」を育むことができるだろう。

3、研究内容

単元「第一次世界大戦と日本」の中で、3年生4学級で各クラス2時間ずつ、仮説に沿った授業を展開し、ワークシートの記述や、アンケートの回答、子どもの発言などから、仮説を検証していく。

本研究では、発問を二段階に分けて検証する。

第一段階：教室にいる全員の生徒が、資料に注目するような発問

第二段階：資料に関連して、学習課題に迫っていけるような主発問

4、結論

- ・普段、発表などに意欲的でない生徒達も、発問に対して積極的に考え、自分の考えを自分の言葉で表現できたことが、ワークシートの記述からわかった。
- ・資料に注目させ、発問を工夫することで、生徒が資料に関して思考し、事実を読み取り、その事実が歴史の流れの中でどのような意味を果たしているのか、考えることができたことが、授業前と授業後のアンケートの中からわかった。

1 研究主題

子どもが積極的に思考する社会科学習の在り方 ～資料提示と発問の工夫を通して～

2. 主題設定の理由

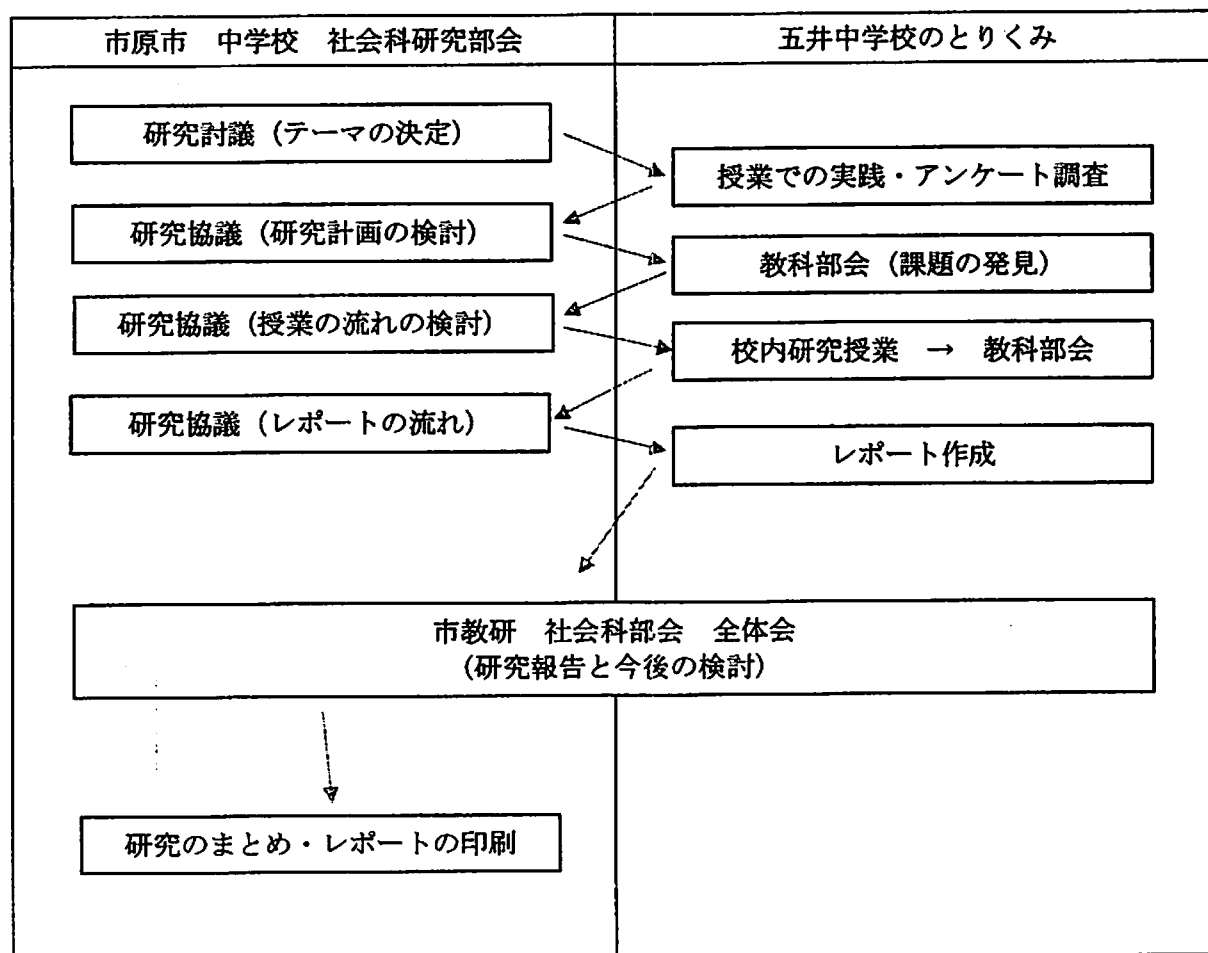
(1) 昨年度の研究の成果と課題から

現代の中学生は、知識を身につけることには意欲的だが、知識を活用したり、資料から考えたり、自分の考えをまとめ、発表したりする能力に欠けていると言われている。そこで、より広い視野に立つてものごとを多面的・多角的に考え、それを表現する力を育てていくことが大切だと考える。

市原市教育研究会中学校社会科部会では、一昨年度から、授業における教員の「発問」に着目し、生徒の思考活動を促すような発問にはどのような特徴があるのか、研究を行ってきた。昨年度の研究では、「学習者全員を引きつけるような発問」「主題に迫っていくような主発問」「考えて欲しいポイントを提示したりする補助発問」のように、3段階に分けて発問を構成する事で、多くの子どもが学習課題を解決していくための思考活動を行うことができると仮定し、研究を行った。研究の成果として、ワークシートの記述や、授業に関するアンケートの結果などから、生徒の思考活動が活発に行われたことがわかる。課題として、「思考活動が停止してしまう生徒への支援」「生徒の社会的な見方・考え方を育むための発問の条件を、より固めていく」などが挙げられた。

また、千葉県標準学力検査の結果から、市原市の中学生は、思考力・判断力・表現力はやや向上し、県平均ほどになっている。また、資料活用の技能に課題がみられる。

これを受け、「発問」に加え、「資料提示」も工夫して、子どもたちの思考力や、「社会的な見方・考え方」を育んでいきたいと考え、主題を設定した。また、下の図のように、市全体で連携して研究を進めてきた。



(2) 子どもの実態から

私の勤務している市原市立五井中学校は、各学年8クラスと、市内で最も規模が大きい学校である。学力は、各教科で県平均を下回っている。3年生は発言・発表も多く、比較的落ち着いた雰囲気、授業を行うことができている。しかし、「学力の二極化」が、学校全体でみられる。積極的に授業を受け、家庭などでも学習をしている生徒と、授業内容を理解するのが精一杯で、知識の定着が薄い生徒に分かれていて、定期テストで平均点と同じくらいの点数をとる生徒が少ない。その中で私は、今年度、3年生を4学級担当している。授業の前に、生徒にアンケート調査を行った。

①社会科のイメージは？

	2組	3組	5組	7組
暗記	33人	30人	29人	30人
考える	0人	2人	3人	3人
その他	0人	1人(調べる)	1人(理解)	0人

②社会科の授業で、どのような学習活動が好きですか？

	2組	3組	5組	7組
先生の話聞く	10人	10人	9人	10人
仲間と話し合う	12人	11人	8人	7人
教科書で調べながらノートを書く	12人	12人	14人	14人
自分で考え、その考えを表現する	0人	0人	0人	0人
その他	0人	0人	2人	2人

③社会科の授業で、どのような力が身についたと感じますか？(複数回答可)

	2組	3組	5組	7組
1、色々な社会的事象を知る(知識・理解)	28人	26人	23人	20人
2、物事を様々な角度から考える (思考・判断)	4人	4人	4人	3人
3、歴史などを学んでいく中で、自分の考え を持つ(思考・判断)	1人	2人	6人	3人
4、自分で考えたことを、言葉や文章で表現 する(表現)	1人	2人	5人	6人
5、資料を読み取り、読み取った情報を活用 する(資料活用の技能)	1人	2人	9人	8人

生徒の中には、社会科は暗記教科であり、色々な社会的事象を、話を聞いたり、教科書を読んだり、ノートを書いたりして、インプットする教科であるという認識が強いことが、このアンケートの結果からわかる。また、アンケートの中で、「第一次世界大戦について、知っていること、またはイメージを書いてください」という質問をしたが「わかりません」と、答えた生徒が90%を越えていた。

検証授業を通して、資料をもとに、物事を多面的・多角的に思考を巡らせ、学習課題に対する答えを自分の言葉で表現する力を身につけさせたい。

3. 研究仮説

授業での資料提示や、資料に関する発問を段階的に工夫することで、生徒が積極的に思考活動を行い、「社会的な見方や考え方」を育むことができるだろう。

4. 研究内容

有田和正氏によれば、発問は、「教師の教育活動の中核をなす重要な技術」で「子どもと教材を出会わせる接点」とであると指摘している(有田和正『有田和正の授業力アップ入門—授業がうまくなる十二章』(明治図書 2005 年)。本研究では、キーワードとなる語句について、以下のようにとらえていきたい。

【学習課題】

学習目標に迫っていくために設定する。子どもに本時の学習内容や活動など「この授業で何を学ぶのか」を示すことで、学習への動機付けを図るとともに、学習のゴールを示すことで見通しを持たせる役割を持つ。

【発問】

学習課題に迫っていくために設定する。子どもの興味や関心を引き出して、子どもの「社会的見方や考え方」を育む役割を持つ。

【社会的な見方や考え方】

物事を多面的・多角的にとらえ、多方面から社会的事象をとらえ、考察する力。

【多面的・多角的】

多面的：1つの社会的事象は、政治面や経済面・文化面など、様々な面を持っている。

多角的：そのような社会的事象を様々な角度(立場)から考察する。

【資料】

写真・地図・グラフ・年表など。

また、仮説にある「発問の段階」については以下のような段階で発問する。

第一段階：多くの生徒が資料に興味をもつような発問

第一の発問では、教室にいる多くの生徒が、掲示された資料に注目するような発問を考えたい。よって、学力や、予備知識に関係なく、多くの生徒の好奇心をくすぐるような発問でなくてはならない。

第二段階：資料に関連して学習課題に迫り生徒の「社会的な見方や考え方を育む」ような主発問

第二の発問は、主発問にあたる。よって、本時の主題にせまるような本質的な視点からの発問でなければならない。そのために授業者が本時の主題を理解し、生徒にどのようなことを考えさせ、身につけてほしいのかを明確にしておかなければならない。

本研究では、単元「第一次世界大戦と日本」の中で仮説に沿った発問を設定し、4学級で検証授業として2時間の授業を行う。各発問に対する子どもの反応や様子を、ワークシートの記述や授業時の生徒の反応、各授業後に実施したアンケートなどを参考にしながら見ていき、仮説を検証する。

5. 仮説の検証と授業における子どもの反応

(1) 仮説に沿った発問の設定の経緯と予想される子どもの反応

単元「第一次世界大戦と日本」の中で仮説に沿った発問を設定し、4学級で検証授業としてそれぞれ2時間の授業を行った。(指導案は資料編に掲載)

○ 1時間目：学習課題「第一次世界大戦はどのような特徴があったのだろう」

第一次世界大戦は今までの戦争と違い、長引き、総力戦になったことに気づかせることに重点を置き、資料提示や発問を設定した。

・ 掲示する資料(詳細は資料編3ページに記載)

① トレンチコートの写真 ② 塹壕で戦う兵士の写真

③ 新兵器の写真 ④ 兵器工場ではたらく女性の写真

学習課題に対する答えにたどりつくためには、どのような資料が必要かを考え、選択した。

・第一段階の発問 資料①の掲示

これは「トレンチコート」といいます。「トレンチ」はどんな意味だろう。

→身近なトレンチコートの写真・塹壕や新兵器の写真をみて、生徒が自由に発言してくれるような発問だと考え、設定した。また、授業開始の号令が終わってすぐに、資料を提示し、まず「これは何だろう」と問いかけることで、生徒の意識が集中し、思考活動のきっかけを作ることができると考えた。

・第二段階の発問 資料②③④の掲示

これらは全て、第一次世界大戦の時に使用された道具や兵器です。また、資料④は当時の工場の様子です。このような道具や兵器が必要になったのはなぜだろう。

→戦争が長引き、総力戦になった事を考えるために最適な発問だと考えた。

また、「トレンチ」の意味は、資料②の「塹壕で戦う兵士の写真」に隠されていることなども伝えながら提示する。このように、資料提示のタイミングも、生徒とのやりとりの中で、最適なタイミングになるように工夫する。生徒の反応に応じて補助発問を入れる必要がある。

(例) コートはどんな時に着る？ なぜ女性がこんなに働いているの？

○ 2時間目：学習課題「第一次世界大戦後の世界は、どのように変化したのだろう」

・掲示する資料（詳細は資料編6ページに記載）

①紙幣で遊ぶドイツ人の子ども ②YAHOOニュースのドイツの記事

③ニューヨークの高層ビルの写真 ④独立した国を表す地図 ⑤三・一独立運動の写真

それぞれ、第一次世界大戦においてちがう立場にいた国について考えることで、物事を多面的・多角的に考察できると考え、資料を設定した。

・第一段階の発問 資料①の掲示

この子達は何をして遊んでいるのだろう。

→お金で遊ぶ子どもという、意外性のある資料なので、生徒も資料に興味を持つと考え、この資料と発問を投げかけた。

資料②③④⑤の掲示

これらは全て、第一次世界大戦後の世界を知るための重要なヒントになっています。

それぞれ、どこの国を表す資料だろう。

→生徒が自由に国名を発表する雰囲気を作れば、注目や関心が集まり、生徒の思考活動のきっかけになると考え、設定した。

・第二段階の発問

それぞれの資料に当てはまる国や地域は、第一次世界大戦に関してどのような立場にいた国だろう。

→戦勝国・敗戦国・ヨーロッパ諸国・アジア諸国に分け、それぞれの立場で、社会や人々の生活に大きな変化があったことを考えるために、最適な発問だと考え、設定した。

(2) 検証授業における子どもの反応（授業での様子や授業後のアンケートから）

各授業が終わった後に発問に対する生徒の反応を調査するアンケートを実施した。

○ 1時間目：学習課題「第一次世界大戦はどのような特徴があったのだろう」

第一の発問

これは「トレンチコート」といいます。「トレンチ」はどんな意味だろう。

Q1：この質問をされた時、あなた自身はどのように感じましたか？

- | | |
|-------------------------|-------|
| 1、知っていたが、調べ直してみたいと思った | … 3% |
| 2、知っていたので、興味がわかなかった | … 6% |
| 3、わからないので、調べてみたいと思った | … 86% |
| 4、わからなかったが、知りたいとも思わなかった | … 5% |

第二の発問

これらは全て、第一次世界大戦の時に使用された道具や兵器です。また、当時の工場の様子です。このような道具や兵器が必要になったのはなぜだろう。

Q2：この質問をされた時、あなた自身はどのように感じましたか？

- | | |
|-------------------------|-------|
| 1、知っていたが、調べ直してみたいと思った | … 12% |
| 2、知っていたので、興味がわかなかった | … 8% |
| 3、わからないので、調べてみたいと思った | … 76% |
| 4、わからなかったが、知りたいとも思わなかった | … 4% |

Q3：結論（答え）を追求してみて、あなたはどう思いましたか。

- | | |
|------------------------|-------|
| 1、満足した。今後も同じようなことをしたい！ | … 41% |
| 2、追求することができてよかった | … 39% |
| 3、考えないより、考えた方がよいのでよかった | … 15% |
| 4、別に何とも思わない | … 5% |

《考察》

第一段階の発問では、89%の子どもが、発問に対して興味を持つことができた。教室にいる多くの生徒が、資料に興味を示したと考えられる。どの学級も、生徒から「トレンチコート」という言葉が出てきた。最近のファッションなどの、身近な写真資料を提示することで、生徒の興味・関心を引くことができた。

第二段階の発問でも、多くの生徒が積極的に考える意欲を持つことができた。生徒の思考を促すために、「戦車は今までの戦争で出てきましたか？」や、「女性が兵器工場で働いているということは、男性は何をしているのだろう」などの、補助発問を投げかけたことで、生徒が積極的に発言する様子が見られた。ワークシートの記述にも第一次世界大戦の特徴として「長期戦」「新兵器の導入」「総力戦」などが挙げられることが書かれていた。

またQ3に対する回答を見ると95%と、非常に多くの生徒が、考えてよかったと感じていることがわかる。

○ 2時間目：学習課題「第一次世界大戦後の世界は、どのように変化したのだろう」

第一段階の発問

これらの資料は全て、第一次世界大戦後の世界を知るための重要なヒントになっています。それぞれ、どこの国を表す資料だろう。

Q：この質問をされた時、あなた自身はどんな反応をしましたか？

- | | |
|-------------------------|-------|
| 1、知っていたが、調べ直してみたいと思った | … 10% |
| 2、知っていたので、興味がわかなかった | … 0% |
| 3、わからないので、調べてみたいと思った | … 80% |
| 4、わからなかったが、知りたいとも思わなかった | … 10% |

第二段階の発問

それぞれの資料に当てはまる国や地域は、第一次世界大戦に関してどのような立場にいた国だろう。

Q：この質問をされた時、あなた自身はどんな反応をしましたか？

- 1、知っていたが、調べ直してみたいと思った … 9%
- 2、知っていたので、興味がわかなかった … 3%
- 3、わからないので、調べてみたいと思った … 72%
- 4、わからなかったが、知りたいとも思わなかった … 16%

Q：結論（答え）を追求してみて、あなたはどう思いましたか。

- 満足した。今後も同じようなことをしたい！ … 23%
- 追求することができてよかった … 50%
- 考えないより、考えた方がよいのでよかった … 17%
- 別に何とも思わない … 10%

《考察》

第一段階の発問では、始めに「紙幣で遊ぶドイツ人の子ども」の写真という、インパクトの強い写真を見せることで、生徒達の興味を引き、思考する意欲を持たせるきっかけになることができた。90%の生徒が、「わからないので調べてみたいと思った」や「調べ直したい」と回答したことは、成果だと考える。しかし、これらの資料が、どの国を表しているかについては、生徒達の考える材料が少なかったため、生徒達が自由に国名を予想し、発言する形になってしまった。

第二段階の発問では、ドイツが敗戦国であるという予想や、アメリカが戦勝国であるという予想が、生徒の中から出てきた。小学校での既習事項を踏まえ、積極的に考えている様子が見られた。81%の生徒が、「わからないので調べてみたいと思った」や「調べ直したい」と回答した。

第一・第二段階の発問を通して、ベルサイユ条約によって「独立した国」「独立できなかった国」については、授業者が補足をしなければ考えることは難しい部分があった。しかし、生徒の中から、第一次世界大戦後の世界で、国によって大きな差があったことを、発言した生徒もいた。

(3) 検証授業における子どもの反応（4人の抽出生徒から）

	学級	社会科のイメージ		授業で身についたと思う力（自己評価）	
		検証授業前	検証授業後	検証授業前	検証授業後
A	2組	暗記	思考	知識	知識、思考・判断 資料活用 of 技能
B	3組	調べる	思考	知識	思考・判断、表現 資料活用 of 技能
C	5組	思考	思考	知識 思考・判断	知識、資料活用 of 技能 思考・判断、表現
D	7組	暗記	暗記	知識	知識、思考・判断 表現、資料活用 of 技能

抽出生徒 A

この生徒は、授業に積極的に参加し、ノートも細かく丁寧に書く。ユーモアもあり、授業の雰囲気盛り上げることが多い。しかし、テストでは点数がとれず、知識の定着が薄いことが考えられる。1時間目の授業では、自分のワークシートの記述を、学級全員の前で発表するなど、積極的に思考し、表現する様子が見られた。2時間目の授業でも、1時間目で自信をつけたのか、取りかかりが早く、自分の考えをしっかりとワークシートにまとめることができています。

抽出生徒 B

この生徒は、授業への集中力が欠けてしまう部分がある。積極的に参加し、発表などもしようという意志はあるが、学力面で自信がなく、「やっぱり発表しない」と言い、手を下げてしまうこともあった。1時間目の授業では、前もって「正解かどうかではなくて、自分の考えをしっかりと持って、それを表現することが大切」という話をしたことで、この生徒が積極的に思考するきっかけになったと考える。ワークシートの記述を見ても、自分なりに考えて記述をしていることがわかる。2時間を終えての、アンケートには、「いつもよりたくさん発表をすることができて良かった」と記述している。

抽出生徒 C

この生徒は、成績が良く、社会科の授業のイメージは授業前と授業後は変わらず「思考」と回答している。授業の中でも、自分で考えたことをノートにメモをしたり、学級全体に投げかけた発問に対しても、積極的に反応する。今回のワークシートの形だと、自由記述の部分が数多くあるので、それだけで苦手意識を持つ生徒もいるが、この生徒は丁寧にワークシートに記入し、まとめも自分の言葉でしっかりとまとめられている。授業後のアンケートには、「資料から、歴史を読み取ったり、考えたりするのは楽しい」と書かれていた。

抽出生徒 D

この生徒は、よく考え、積極的な発言が多く見られるので、社会科のイメージは「思考」と回答してくると考えていたが、回答は「暗記」であった。検証授業中は、何度も挙手をし、学級の前で自分の考えを表現する機会が多かった。国語が苦手なので、ワークシートの記述の部分で、文章的に直さなければならぬ部分もあるが、自分の考えをしっかりと示すことができています。しかし、授業後の社会科のイメージは、授業前と変わらず「暗記」であった。積極的に発言したり、ワークシートに記述をしたりしていても、この生徒の中の「社会科は暗記」というイメージを払拭することはできなかった。

《考察》

授業での反応、ワークシートの記述、授業前後のアンケートの比較から、4人の生徒が積極的に思考し、自分なりの考えを、文や、口頭で表現できたと考えられる。AやBのような生徒に関しては、積極的に発言できている事を学級全体で褒めることで、自信を持たせることができた。CやDのような生徒に関しては、ある程度基礎が定着しているので、ワークシートの記述に関して「なぜそのように思ったの？」と聞いて説明させてみることも、効果的だと考える。

(4) 検証授業を終えての子どもの変容（事前事後のアンケートから変容を考察）

生徒によって、授業の様子や反応、ワークシートの記述は様々であるが、今回の授業で、少なからず「考えるのは楽しい」「正解を覚えるのではなく、考えて課題を解決する」ことを感じたり、身についたりした生徒がいたことは確かである。また「学習課題に対する答えを追求するのは楽しい」と書いていた生徒もいて、課題を解決するという意識で、授業に臨んでいた生徒もいたことがわかった。授業後にとったアンケートでは、下の変化が見られた。（単位は 人）

①社会科のイメージは？

	2組		3組		5組		7組	
	前	後	前	後	前	後	前	後
暗記	3 3	2 9	3 0	2 2	2 9	2 3	3 0	2 5
考える	0	4	2	1 1	3	3	3	8
その他	0	0	0	0	1	1	0	0

社会科のイメージが「暗記」から「考える」に変化した生徒が4クラスで合計23人いた。多くの生徒とは言いがたいが、積極的に思考した生徒が増えたことがわかる。

②社会科の授業で、どのような学習活動が好きですか？

	2組		3組		5組		7組	
	前	後	前	後	前	後	前	後
先生の話聞く	1 0	1 1	1 0	8	9	6	1 0	7
仲間と話し合う	1 2	9	1 1	1 2	8	9	7	9
教科書で調べながらノートを書く	1 2	1 2	1 2	5	1 4	8	1 4	1 0
自分で考え、その考えを表現する	0	1	0	8	0	3	0	2
その他	0	1	0	0	2	2	2	1

「自分で考え、その考えを表現する」と答えた生徒が、授業前では0人だったのに対し、授業後では合計14人になった。これも、現段階では割合的に多いとは言えないが、このような授業を長期的に続けていくことによって、生徒の思考力や表現力を育むことができると考える。

③社会科の授業で、どのような力が身についたと感じますか？（複数回答可）

	2組		3組		5組		7組	
	前	後	前	後	前	後	前	後
1、色々な社会的事象を知る (知識・理解)	2 8	2 5	2 6	1 6	2 3	1 7	2 0	1 0
2、物事を様々な角度から考える (思考・判断)	4	8	4	1 2	4	7	3	1 5
3、歴史などを学んでいく中で、自分の考えを持つ(思考・判断)	1	9	2	1 0	6	9	3	9
4、自分で考えたことを、言葉や文章で表現する(表現)	1	1 2	2	1 2	5	7	6	7
5、資料を読み取り、読み取った情報を活用する(資料活用の技能)	1	1 5	2	1 6	9	1 4	8	1 0

全ての学級で、思考・判断・表現や、資料活用の技能が身についたと感じている生徒が、検証授業前より増えたことがわかる。①の質問で、社会科のイメージは「暗記」と答えた生徒の割合に、大きな変化は見られなかったが、この質問の回答から考えると、イメージは変わらなくとも、思考力や判断力・表現力などを、資料を活用しながら身につけることができた、多くの生徒が感じている。

6 検証の成果と課題

《成果》

今回、4学級で2時間の検証授業を行ったが、全ての生徒が、学習課題に対する答えを、自分の言葉で表現できたわけではない。しかし、授業の導入で、関係資料の提示と、段階的な発問をすることで、生徒達が積極的に思考活動を行ったことが、ワークシートの記述や、事後アンケートの記述からもわかる。

第一段階の発問では、教室にいる多くの生徒が資料に興味を持つことをねらった発問を設定した。その結果、多くの生徒の興味を引くことができた。第二段階の発問では、主発問として、学習課題に迫っていけるような発問を設定した。ここで、生徒なりに仮説を立て、それを確かめるために、教科書で調べたり、調べたことを発表したりするような授業を行った。事後アンケートからも「課題を追求するために、もっと仲間と話し合いたい」という回答もみられ、生徒が積極的に参加していたことがわかる。1時間目の授業では第一次世界大戦でみられた新兵器の使用や、総力戦になったことなど「それ以前の時代との変化」をしっかりととらえ、ワークシートに記述することができている。2時間目の授業では、第一次世界大戦という一つの社会的事象を、戦勝国・敗戦国などの様々な角度や立場から考え、ワークシートに記述することができた。このような授業で、社会的事象について多面的・多角的に考察する力が、育むことができると考える。

また、2時間の検証授業だけでは、「社会科は暗記科目である」という、生徒のイメージを変えることはできなかったが、アンケートの中で「社会科の授業で身についた力」のなかに「思考・判断・表現」や「資料活用 of 技能」が加わった生徒が多く見られたことから、このように発問や資料提示を工夫することで、生徒が積極的に思考し、「社会的な見方や考え方」を育むことに、少なからず影響を及ぼしたことが考えられる。このように、導入部分の発問や資料提示を毎回工夫し、生徒の疑問をいかして学習課題を設定し、それを追求するために授業を展開し続けていけば、生徒にとっての社会科のイメージは変わってくると考える。また、「資料の準備」や「発問」は、地域の特色や学校の状況などに関係なく、工夫できるものなので、そういった意味でも、本研究の成果はあると考える。

《課題》

今回の検証授業では、もともと積極的に思考し、発言していた生徒だけでなく、今まで授業に消極的であった生徒の中にも、積極的に授業に参加するようになったという変化がみられた。しかし、まだ一部の生徒は、発問に対して興味がわかなくなかったり、ワークシートの記述もあまり書けていなかったりした。このような生徒に対して、教員側が支援をしたり、意欲を持たせたりするように、さらに工夫をしていかなければならないと感じる。本当の意味で、学級の「全員」が思考し「全員」で共有しあうことができるような授業を作っていくためには、本研究をさらに深化させていかなければならないと感じた。また、成果の部分でも書いたように、2時間の検証授業だけでなく、もっと長期的に研究を進め、生徒の「社会的な見方・考え方」を養うことができる発問の条件を固めていき、研究をさらに深化させていく必要がある。

7 参考文献

- ・社会・地理歴史・公民ワーキンググループにおける審議のとりまとめ
(文部科学省 2016年)
- ・有田和正『有田和正の授業力アップ入門―授業がうまくなる十二章』(明治図書 2005年)
- ・文部科学省『中学校学習指導要領 解説 社会編』(平成20年 9月)
- ・河原和之『100万人が受けたい 中学歴史ウソ・ホント?授業』(明治図書 2012年)
- ・有田和正『子どもを歴史好きにする 面白小話集』(明治図書 2002年)
- ・有田和正『社会科の基礎・基本学力をつける 調べる力・考える力を鍛えるワーク』
(明治図書 2002年)
- ・青柳慎一『中学校社会科 授業を変える課題提示と発問の工夫45』(明治図書 2015年)
- ・「子どもが積極的に思考する社会科学習の在り方 ～段階的な発問の追求を通して～」
(市原市教育研究会中学校社会科部会 2016年)
- ・「子どもが積極的に思考する社会科学習の在り方 ～発問の追求を通して～」
(市原市教育研究会中学校社会科部会 2015年)

資料編

1 時間目

過程	時配	学習活動	形態	指導上の留意点（・）と評価（☆）	備考
見 い だ す	5	(1) 学習内容に興味を持つ ・ トレンチコートの写真の掲示 「これはトレンチコートといいます。トレンチとはどんな意味だろう」 答え：塹壕 予想される生徒の反応 「わからない」 「戦争関係の言葉？」 (2) 学習内容に対して、興味・関心を持つ ・ 塹壕の写真、新兵器の写真 兵器工場ではたらく女性の写真の掲示 「これらは全て、第一次世界大戦の時に使用された道具や兵器です。また、当時の工場の様子です。このような道具や兵器が必要になったのがなぜだろう。」 答え：長期戦・総力戦になったから 予想される生徒の反応 「戦争が冬に行われた」 「銃弾から隠れるために穴を掘った」 「科学技術が発達して戦車などが作られた」 「女性も戦争のために働いた」 など	一斉	・ 自由に発言をさせる。 ・ 時間をかけてもいいから、生徒の意見をできるだけ多く引き出し、拾い上げる。 ・ 出た生徒の意見を、つなげ、生徒が仮説を立てていけるように導く。 ・ 生徒とのやりとりの中で、資料を提示するタイミングを工夫する。 「トレンチの意味は、この写真の中に隠れています」と言って、塹壕で戦う兵士の写真を提示する。	
学習課題：第一次世界大戦には、どのような特徴があったのだろう。					
調 べ る	15	(1) 大戦前の列強の関係について調べる。 ・ 黒板に書かれた内容を、ノートに写す。その際、黒板で空欄にした部分は、教科書184・185ページを使って調べる。 ・ 黒板の空欄を、挙手をして埋める。 (2) 第一次世界大戦が、どのようにして起こったのかを調べ、考える。 ・ バルカン半島の写真の掲示 「これはどの地域を表した絵だろう。」 答え：バルカン半島 「なぜ、バルカン半島は火薬庫と呼ばれているのだろう。」 答え：さまざまな民族が生活していて、争のきっかけになる地域だったから。	個別 一斉 一斉	・ 教科書で調べたことを、発表し、黒板に書いてもらう。 ・ 生徒のどのような意見も尊重する。	

深める	20	(1) 第一次世界大戦の特徴について考える。 ・ワークシートに、「見いだす」の部分で確認した、それぞれの資料が、第一次世界大戦のどのような特徴を表しているか、記入する。 ・キーワード ①トレンチコート 「塹壕」・「長期戦」など ②塹壕 「長期戦」・「最前線」など ③新兵器 「塹壕を突破するため」など 「今までの戦争では見られなかった」 ④工場で働く女性 「総力戦」・「国民全員参加」など ・記入したことを、班の中で共有し合う	個別	・ワークシート配付 ☆資料を見て、それがどのような資料か記入し、そこから何が読み取れるかを記入することができる。(資料活用の技能) ・行き詰まっている生徒には、個別に声をかけ、支援する。 ・まず、「資料から読み取れる事実」を確認し、「その事実から、第一次世界大戦のどのような特徴がわかるか」を記入するように指示を出す。	
		班			
まとめる	10	(1) 本時のまとめをする ・学習課題に対する答えを、ワークシートにまとめ、発表する。	個別 一斉	☆ワークシートの最後のまとめの部分を、自分なりの言葉でまとめることができる。(思考・判断・表現)	
		第一次世界大戦は、長期戦で、多くの国民が参加する総力戦となった。また、機関銃から逃れるために掘られた塹壕を突破するために、多くの新兵器が使用された。			
		(2) 授業の感想を記入する			

2 時間目

過程	時配	学習活動	形態	指導上の留意点（・）と評価（☆）	備考
見 い だ す	5	(1) 学習内容に対して、興味や疑問を持つ ・紙幣で遊ぶドイツ人の子どもの写真を黒板に掲示を黒板に掲示 「この子達は何をして遊んでいるのだろう」 答え：お金を積み木のようにして遊んでいる。 予想される生徒の反応 「積み木」 「何かを積み木みたいにして遊んでいる」 ・YAHOOニュースのドイツの記事を掲示し、読み上げる。 「この記事の空欄に当てはまる言葉は何だろう」 答え：第一次世界大戦 予想される生徒の反応 「第一次世界大戦」など ・ニューヨークの高層ビルの写真 独立した国を表す地図・ 三・一独立運動の写真の掲示 「これらは全て、第一次世界大戦後の世界を知るための重要なヒントになっています。それぞれ、どこの国を表す資料だろう。」 答え：ドイツ・アメリカ 独立できた国・独立できなかった国 ・「それぞれの資料に当てはまる国や地域は、第一次世界大戦に関してどのような立場にいた国だろう。」 答え：敗戦国・戦勝国・戦争と関係が薄かった国 (2) 学習課題を設定し、ノートに記入する。	一斉	・どの生徒の意見も尊重する ・前時で、第一次世界大戦について学んでいるので、復習も兼ねて発問をする。 ・生徒が自由に発言できる雰囲気を作る。 ・この段階では、生徒は予想するだけなので、それを確かめていくために、授業を進めていく。	
学習課題：第一次世界大戦後の世界は、どのように変化したのだろう					
調 べる	15	(1) ベルサイユ条約によって、大戦後の世界に大きな変化があったことについて調べる。 ・教科書188・189ページを参考に、ベルサイユ体制についてノートにまとめる。	個人 一斉	・ノートを書き終わった生徒に挙手をさせ、黒板の空欄を埋めてもらう。	

深める	20	(1) 戦勝国・敗戦国・ヨーロッパ諸国・アジア諸国のそれぞれの国々に、どのような変化があったのかを考える。 ・ワークシートに、「見いだす」の部分で確認した、それぞれの資料に当てはまる国々が、どのような立場で、どのような変化があったのかを考え、ワークシートに記入する。 ・自分で考えたことを、班の仲間と共有する。	個別 ・ワークシート配付 ☆資料を見て、それがどのような資料か記入し、そこから何が読み取れるかを記入することができる。(資料活用の技能) ・自分で書いたことを、班の中で発表してもらう。	
		班 一斉 ・良い意見や文章があれば、全体で発表してもらう。		
まとめる	10	(1) 本時のまとめをする ・学習課題に対する答えを、ワークシートにまとめる。	・つまずいている生徒には、助言をする。 ☆ワークシートの最後のまとめの部分で、自分なりの言葉でまとめることができる。(思考・判断・表現)	
		第一次世界大戦によって、アメリカなどの戦勝国は、経済的に発展し、ドイツなどの敗戦国は、賠償金を課せられたり、植民地を失ったりするなど、経済的に苦しくなった。また、戦争が終わって独立できた国と、できなかった国があり、様々な面で、各国に差ができた。		
		(2) 授業の感想を記入する		

1 時間目、導入 提示資料

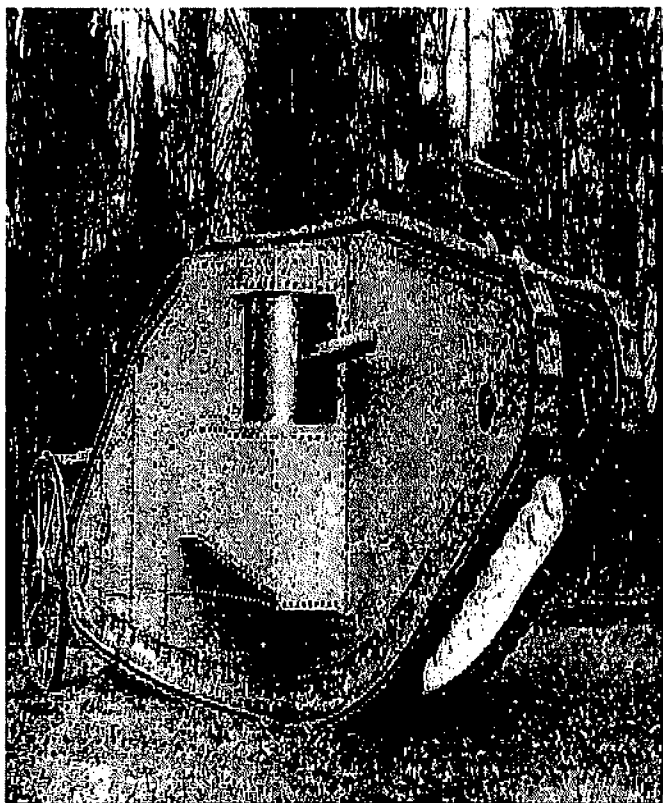
①トレンチコートの写真



②塹壕で戦う兵士の写真



③新兵器の写真



④兵器工場で働く女性の写真

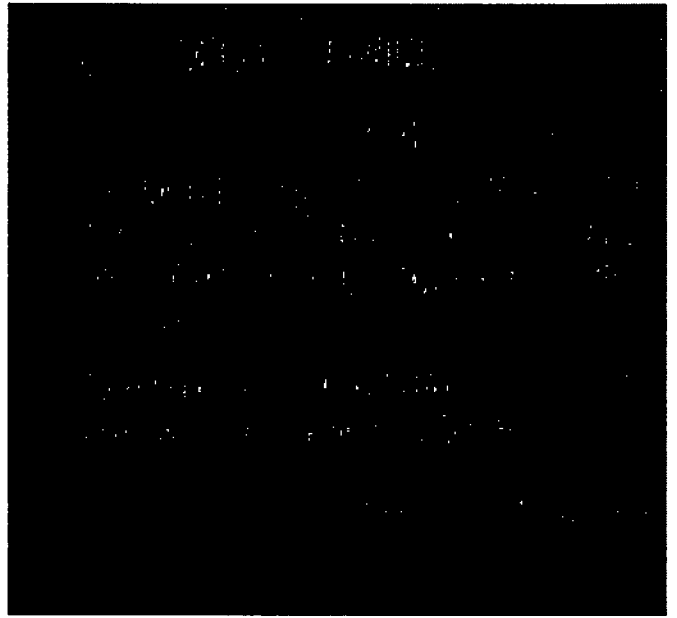


2時間目、導入 提示資料

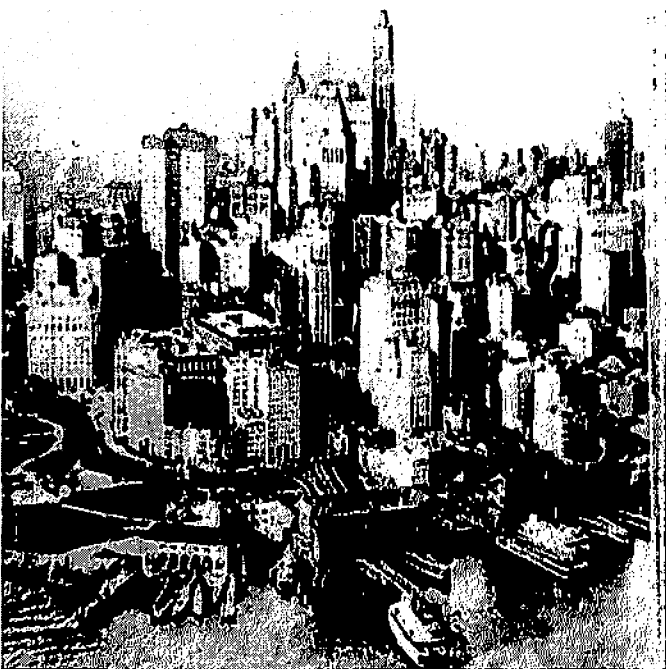
①紙幣で遊ぶドイツ人の子ども



②YAHOOニュースのドイツの記事



③ニューヨークの高層ビルの写真



④独立した国を表す地図



⑤三・一独立運動の写真



ワークシート「第一次世界大戦」

3年 2組

それぞれの写真は、第一次世界大戦のどのような特徴をあらわしているのだろうか



ゴッホ 6月28日。
戦争が長びいた。

夏〜冬まで続いた。



ゴッホ 約100km。
スコップや手で掘った。
向かい合っている。

戦争が長びいた。死者(多)

戦車 月あつたのに甲冑
銃兵器 兵器が使われていた
戦争準備



戦争が始まる前、女性が火薬を
積んで、男性が戦争に行く。

今日のまとめ

学習課題「第一次世界大戦には、どのような特徴があったのだろうか。」

に、対する答えを、自分なりに書いて見よう！

たった1人の青年の死によって、千億もの兵が戦争かつつ。女性も
戦争で死ねるほど男性たちが戦争に行く。はぐりし本は11ほどの
りか人と、死者が出た。そして。

ワークシート「第一次世界大戦後の世界」

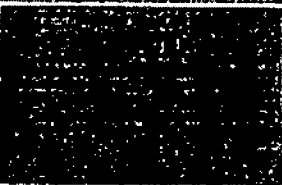
3年 2組

それぞれの資料に当てはまる国々は、第一次世界大戦後に、どのように変化したのだろうか



ドイツ (敗戦国)

戦争で負けて大金で和議を買入れた。
ので、お金で和議をするくらいお金の
価値が低くなってしまった。
2010年(74年前)にやっと賠償金を払い
終わった。約90年間かかった。



アメリカ (勝戦国)

戦争に勝ち、ドイツとは全く違うように
超高層ビルなどがたくさん建設され
超発展した。ドイツで戦争をしたため
アメリカの国の力がいは 上がった。



独立した国 (ヨーロッパ)

ベルサイユ条約によって植民地
だった国が、独立した。



独立した国 (アジア)

独立で自由な国が独立を求め
るようになった。



今日のまとめ

学習課題「第一次世界大戦後の世界は、どのように変化したのだろうか」

に、対する答えを、自分なりに書いて見よう！

ドイツはアメリカに負けて、お金の価値が低くなった。アメリカはドイツに
勝ち、超高層ビルなどが建設され発展し、ヨーロッパはベルサイユ条約
によって独立し、アジアは独立を求めた。独立を求めるように
運動をした。

ワークシート「第一次世界大戦」

3年 3組

それぞれの写真は、第一次世界大戦のどのような特徴をあらわしているのだろうか



戦争で死んだ兵士のしるし
戦争が長いことによる被害をあらわしている。

トレンチ



大砲が撃ちこんでできた穴を写している。

大砲をこわくするために雷管をつかった



戦争に行っている男が多く、多くの戦争の道具を写している
国民が戦争で死んでいる

今日のまとめ

学習課題「第一次世界大戦には、どのような特徴があったのだろう。」

に、対する答えを、自分なりに書いて見よう！

この戦争は、国民が死んだり、苦しい道具をへいさをつかっていて、いまだに戦争
ははらうなと思ひました。

ワークシート「第一次世界大戦後の世界」

3年 3組

それぞれの資料に当てはまる国々は、第一次世界大戦後に、どのように変化したのだろうか

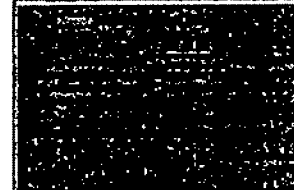


ドイツ (敗戦国)

ドイツは戦争に負け、借金が多くなり、お金の価値が下がって、お金の価値が下がった。
このようにお金の価値が下がった。

この戦争は、10年間も続いたお金の価値が下がった。
というニュースの写真

この戦争の後のドイツは、とても大変な状況に陥った。



アメリカ (勝戦国)

アメリカは、戦争で勝ったので、お金の価値が上がり、お金の価値が上がった。
お金の価値が上がった。



ロシア (勝戦国)

この戦争は、ロシアは、戦争で勝ったので、お金の価値が上がり、お金の価値が上がった。
お金の価値が上がった。



中国 (勝戦国)

この戦争は、中国は、戦争で勝ったので、お金の価値が上がり、お金の価値が上がった。
お金の価値が上がった。



今日のまとめ

学習課題「第一次世界大戦後の世界は、どのように変化したのだろうか」

に、対する答えを、自分なりに書いて見よう！

第一次世界大戦が終わって、勝った国々が、お金の価値が上がった。
お金の価値が上がった。

1時間目より、2時間目の方が、記述の量が増えている

ワークシート「第一次世界大戦」

3年 5組

それぞれの写真は、第一次世界大戦のどのような特徴をあらわしているのだろうか



トレンチコート

「ト」で「んごう」という意味。…「さんごう」の字を
着ていたから

→ 第一次世界大戦では犠牲者がたくさん出て
長引いた戦争だったから寒さや泥から身を守る



さんごうに戦士たちが隠れて攻防を
くり返していた。毒ガスを相手に使われて
しまうと下に沈んでしまい苦しくなる。
約100kmも進むほど大きな戦争だった。

相手に負けないような
戦術を必死に練っていた。
それほど自暴した戦争だった。



男子が戦争に行ってしまう人手不足のため
女子も武器をつくられていた。
国民全員参加→総力戦

今日のまとめ

学習課題「第一次世界大戦には、どのような特徴があったのだろう。」
に、対する答えを、自分なりに書いてみよう！

過去にはなかった。その当時最大の戦争。
戦時中戦費も多く、この戦争に関わった国(特に三国同盟、三国協商の国)
は総力戦と比べると大きな戦争となった。

ワークシート「第一次世界大戦後の世界」

3年 5組

それぞれの資料に当てはまる国々は、第一次世界大戦後に、どのように変化したのだろうか



ドイツ(敗戦国)

第一次世界大戦に敗れ、
ベルサイユ条約により、多くの賠償金を
賠償金を負わされた。→経済

お金の価値がさがった。→
ドイツの経済状況が悪化した。



もともと君主権の強い憲法だったから、
第一次世界大戦の1年後、今までは
全然違う国民主権のワイマル憲法が
公布された。



アメリカ(戦勝国)

第一次世界大戦で勝ったアメリカは
賠償金などが入ってくることで
高層ビルを建設できたり、企業が活性化
したりと国の経済力があがった。



独立できた国(東ヨーロッパ)

植民地から解放されて、
自分たちが国の運営ができるようになった。



独立できなかった国(アジアなど)

ヨーロッパに独立できた国があるなかで、
アジアに独立できなくて、支配している国
に対して怒り、反対運動が行われた。

今日のまとめ

学習課題「第一次世界大戦後の世界は、どのように変化したのだろうか」
に、対する答えを、自分なりに書いてみよう！

敗戦国、戦勝国間には経済面など大きな差ができた。
一方で植民地にされていた国ではヨーロッパのほうでは解放され
独立できた国があったが、アジアのほうでは独立できなくて不満が
高まった。

ワークシート「第一次世界大戦」

3年 7組

それぞれの写真は、第一次世界大戦のどのような特徴をあらわしているのだろうか

	ゼンゴウ トンチコート <u>密かに兵につづいた戦い</u>
	ゼンゴウ 穴をほえて、うたひないほうにした。 <u>ゼンゴウ系象がながつづいた。</u> じゅうをつかって、 木への死着かでた。自分の身をもさうにやういながら 戦っていた。
	穴だとおもふことができないから 戦いという <u>あたらしい</u> 。さあみながら こうげきでまわるものがつづいた。 今までの陣といつづかぬでいふことがつづいた。
	果のトはほとんどが戦っていたから サのトがふまげとをイ作り、国民せんたい どかんばつていた。 <u>総力戦... 国民全軍がかんがわつていた。</u>

今日のまとめ

学習課題「第一次世界大戦には、どのような特徴があったのだろう。」

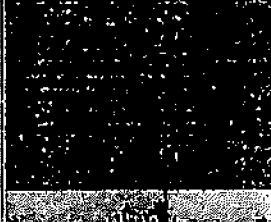
に、対する答えを、自分なりに書いて見よう！

この戦争とは、違い、新しい兵器を使ったり、また、さごとがなま、
国民全軍がかんがわつて、

ワークシート「第一次世界大戦後の世界」

3年 7組

それぞれの資料に当てはまる国々は、第一次世界大戦後に、どのように変化したのだろうか

	ドイツ(敗戦国)	ドイツはばいしや金をとらふためにたくさん お金をイ作ったけれど、 <u>お金の質が悪く</u> なりました。(からがなやなりました)。
	ドイツ(敗戦国)	<u>ばいしや金をつい最近になって</u> 新しい系統えた(ドイツ)が、
	アメリカ(戦勝国)	<u>戦勝国にあらたアメリカは、</u> キタスボテが <u>進んだり</u> 、ドイツとの <u>差がとてもあった。</u> (超高度ビル)。
	独逸(独立国)	<u>ベルサイユ条約</u> によって、 <u>独立でま</u> <u>た国もあつたけれど</u> 、アフリカやアジア など <u>独立でまなかつた国もあつた。</u>
	ロシア(独立国)	中国など <u>独立でまなかつた</u> <u>国々</u> と <u>かいデモ</u> などを <u>おこなつた。</u>

今日のまとめ

学習課題「第一次世界大戦後の世界は、どのように変化したのだろうか」

に、対する答えを、自分なりに書いて見よう！

ドイツは、お金の質が悪くなり、価値がなまなま。アメリカは、
お金の質がよくなり、価値がなまなま。戦勝国と戦敗国との
差が、大きかった。また、ベルサイユ条約で独立でまなかつた国もあつた。

社会科の授業に関するアンケート

授業のはじめの部分で、みんなに「問いかけ」をしました。これらの問いかけや、今日の授業について、みなさんの意見・感想を教えてください。感想には影響しません。

学習課題

「第一次世界大戦はどのような特徴があったのだろう」

第一の問いかけ

資料①は、「トレンチコート」といいます。「トレンチ」ってどんな意味だろう。

Q：この問いかけをされた時、あなた自身はどのように感じましたか？

- 1、知っていたが、調べ直してみたいと思った。
- 2、知っていたので、興味がわかなかった。
- 3、わからないので、調べてみたいと思った。
- 4、わからなかったが、知りたいとも思わなかった。

第二の問いかけ

これらは全て、第一次世界大戦の時に使用された道具や兵器です。また、資料②は当時の工場の様子です。なぜ、このような道具や兵器が必要になったのだろう。

Q：この問いかけをされた時、あなた自身はどのように感じましたか？

- 1、知っていたが、調べ直してみたいと思った。
- 2、知っていたので、興味がわかなかった。
- 3、わからないので、調べてみたいと思った。
- 4、わからなかったが、知りたいとも思わなかった。

Q：授業の中で、結論（答え）を追求してみて、あなたはどのよう思いましたか。

- 1、満足した。今後も同じようなことをしたい！
- 2、追求することができてよかった。
- 3、考えないより、考えた方がよいのでよかった。
- 4、別に何とも思わない。

なんでもいいので授業の感想を書いてください

3年 組 番 名前

社会科の授業に関するアンケート②

授業のはじめの部分で、みんなに「問いかけ」をしました。これらの問いかけや、今日の授業について、みなさんの意見・感想を教えてください。感想には影響しません。

学習課題

「第一次世界大戦」

第一の問いかけ

これらは全て、第一次世界大戦後の世界を知るための重要なヒントになっています。それぞれどこの国を表す資料だろう。

Q：この問いかけをされた時、あなた自身はどのように感じましたか？

- 1、知っていたが、調べ直してみたいと思った。
- 2、知っていたので、興味がわかなかった。
- 3、わからないので、調べてみたいと思った。
- 4、わからなかったが、知りたいとも思わなかった。

第二の問いかけ

それぞれの資料に当てはまる国や地域は、第一次世界大戦に關してどのような立場にいたのだろう。

Q：この問いかけをされた時、あなた自身はどのように感じましたか？

- 1、知っていたが、調べ直してみたいと思った。
- 2、知っていたので、興味がわかなかった。
- 3、わからないので、調べてみたいと思った。
- 4、わからなかったが、知りたいとも思わなかった。

Q：授業の中で、結論（答え）を追求してみて、あなたはどのよう思いましたか。

- 1、満足した。今後も同じようなことをしたい！
- 2、追求することができてよかった。
- 3、考えないより、考えた方がよいのでよかった。
- 4、別に何とも思わない。

なんでもいいので授業の感想を書いてください

3年 組 番 名前

社会科の授業に関するアンケート（事後）

3年 組 番 名前

(1) 次の質問に答えてください。文章でも、箇条書きでも、どのような形でもかまいません。キーワードを書くだけでもOK！まったくわからない場合は、「わかりません」と書いてください。 ※成績には、まったく関係ありません！

①第一次世界大戦について知っている事、またはイメージを書いてください。

②第一次世界大戦の後の世界（第二次世界大戦代より前）について、知っている事、またはイメージを教えてください。

(2) 次の質問に対して、最も当てはまる物に○をつけてください。

①社会科の授業イメージは？

1、暗記 2、考える 3、その他（ ）

②社会科の授業で、どのような学習活動をしている時間が好きですか？次のうちから1つ選びなさい。

1、先生の話を聞く 2、仲間と話し合う
3、教科書で調べてノートを書く 4、自分の考え、その考えを書いたり、発表したりする。
5、その他（ ）

③第一次世界大戦の社会の授業で、どのような力が身についたと感じますか

1、いろいろな社会的事象を知る（知識）
2、物事を様々な角度から考える（思考・判断）
3、歴史などを学んでいく中で、自分の考えを持つ（思考・判断）。
4、自分で考えたことを、言葉や文章で表現する力（表現）
4、資料を見て、どのようなことがよみとれるかを考える（資料活用）

抽出生徒の、社会科の知識と意欲

※入学時からの、成績と、教科担当との打ち合わせにより作成

